

平成30年度 木材利用優良施設コンクール 受賞施設の概要

木材利用推進中央協議会

受賞施設一覧

- | | |
|--------------------|---|
| 内閣総理大臣賞（1点） | 江東区立有明西学園（東京都江東区） |
| 農林水産大臣賞（1点） | 宿毛商銀信用組合新店舗（高知県宿毛市） |
| 林野庁長官賞（3点） | 竹中研修所「匠」新館（兵庫県川西市）
大槌町文化交流センター「おしゃっち」（岩手県大槌町）
朝日村役場（長野県朝日村） |
| 木材利用推進中央協議会会長賞（4点） | 福島県営復興公営住宅磐崎団地（福島県いわき市）
八戸市立西白山台小学校（青森県八戸市）
熊本県立熊本かがやきの森支援学校（熊本県熊本市）
認定こども園さざなみの森 吹の棟（広島県東広島市） |
| 審査委員会特別賞（2点） | 都城市立図書館（宮崎県都城市）
松尾建設株式会社本店ビル（佐賀県佐賀市） |

内閣総理大臣賞(1点)

江東区立有明西学園(東京都江東区)



施主	江東区
設計者	久米・竹中設計共同企業体
施工者	(株)竹中工務店
主要構造	木造+鉄骨造+鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
延べ面積	24,494㎡
主な使用樹種	カラマツ、スギ、カバザクラ 等

<施設概要>

東京都江東区で整備された、5階建ての大規模学校建築。木造と非木造(鉄骨造、鉄筋コンクリート造)をバランス良く組み合わせることで低コスト化・工期の短縮化を実現。

木造部分は、国土交通大臣認定を受けた耐火集成材を活用した耐火建築物となっており、防耐火規制が厳しい都市部における木造建築物のモデルとして期待。

地元で木材産業を営む企業との関係を通じて、地域材や国産材を優先的に使用するため早期から調達計画・検討を実施。構造だけでなく、内装にもふんだんに国産材を使用し、暖かい空間を生徒たちに提供している。

農林水産大臣賞(1点)

宿毛商銀信用組合新店舗(高知県宿毛市)



施主	宿毛商銀信用組合
設計者	(有) 艸(そう)建築工房
施工者	(株) 山幸建設
主要構造	木造
階数	地上2階
延べ面積	805㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

<施設概要>

全国的にも珍しい木造の金融機関。地元産木材を材料としたCLT(Cross Laminated Timber・直交集成板)を2階床と壁、家具(記載台等)に使用しており、来客を迎えるロビーだけでなく、営業室や研修室についても木質化が図られ、建物全体で木に親しめる空間となっている。

2階床をCLTと鋼棒を組み合わせた張弦梁構造を用いることで、11.4mスパンの無柱空間を実現。2階床の梁も省略することができ、建物全体の材料費等のコスト低減につながっている。

木の香りが溢れるロビーは居心地が良いと顧客からの評判も良く、木材利用が信用組合のPRIにもつながっている。

林野庁長官賞(3点)

竹中研修所「匠」新館(兵庫県川西市)



施主	(株)竹中工務店
設計者	(株)竹中工務店
施工者	(株)竹中工務店
主要構造	木造+鉄骨造+鉄筋コンクリート造
階数	地上3階、地下1階
延べ面積	1,209㎡
主な使用樹種	スギ



<施設概要>

CLTパネル工法による木造の研修施設。地上躯体すべてにスギCLTを使用した3階建て準耐火建築物であり、CLTパネル工法を採用することにより、省人化・短工期化を実現するとともに、施設内の壁・天井の大半をCLTあらわしとして木質感溢れる空間を演出。

二重床、二重壁構造の中にCLTの接合金物を収め室内に一切露出しないよう工夫がなされているほか、鋼板補強により垂れ壁、腰壁をなくし、フルハイトの大開口を有するフラットスラブ型を実現するなど高い意匠性を実現。

CLTを活用した木造ビルのモデルとして全国への普及が期待される。

林野庁長官賞(3点)

大槌町文化交流センター「おしゃっち」(岩手県大槌町)



施主	大槌町
設計者	前田・近代・中居・TOC異業種特定建設共同企業体
施工者	前田・近代・中居・TOC異業種特定建設共同企業体
主要構造	木造
階数	地上3階
延べ面積	2,217㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ



<施設概要>

東日本大震災の津波による被災地の復興拠点として計画された図書館や多目的ホールを有する複合施設。

平成27年6月に施行された改正建築基準法に基づく、国内初の木造3階建て1時間準耐火建築物。

可能な限り地域内で調達可能な部材を用いたシンプルな木架構や、JISで規定された高い強度を有する耐力壁を使用するなど、誰でも活用可能な材料や工法を活用しており、他の建築物への普及効果が期待される。

また、地元の釜石地方森林組合と協力し、平成29年5月に発生した釜石市の林野火災の焼損材を活用したテーブルと椅子を製作し、施設内に設置するなど、被災木の有効活用にも貢献。

林野庁長官賞(3点)

朝日村役場(長野県朝日村)



施主	朝日村
設計者	宮本・倉橋設計共同企業体
施工者	松本土建・清沢土建特定建設工事共同企業体
主要構造	木造
階数	地上2階
延べ面積	2,245㎡
主な使用樹種	カラマツ、ヒノキ、ケヤキ、クリ、イチイ、スギ、アカマツ

<施設概要>

村内の豊富な森林資源を活用した木造の役場庁舎。村内に育成し、伐期を迎えているカラマツ材を接着重ね梁、集成材、厚板パネル等の形で大胆に活用し、カラマツ材活用のモデルとして期待。

また、新庁舎の象徴である樹齢300年のヒノキの大黒柱をはじめ、ケヤキ、スギ、アカマツ、クリ、ヒノキ、イチイ等の村民から寄付された木材も内装や家具に活用されており、来訪者に村の豊富な森林資源をアピール。

庁舎建設に当たっては、地域材の活用に加え、県内企業が開発した建材の採用や、地域材の伐採・製材加工、建設工事、家具製作の大部分を県内業者が担い、地元の木材関連事業者の人材育成にも貢献。

木材利用推進中央協議会会長賞(4点)

福島県営復興公営住宅磐崎団地(福島県いわき市)



施主	福島県
設計者	ふくしまCLT木造建築研究会木あみ
施工者	会津土建(株)(株)渡辺組 菅野建設(株) 山木工業(株)特定建設工事共同企業体
主要構造	木造+鉄骨造
階数	地上3階
延べ面積	4,883㎡
主な使用樹種	スギ、SPF



<施設概要>

東日本大震災の被災地で整備されたスギCLTのパネル工法による復興公営住宅。

RC造の場合と比べて、コンクリートの型枠工事や養生期間を必要としないことなどから、工期の短縮化(RC造:13ヶ月→CLTパネル工法:5.5ヶ月)、現場作業員の人工の削減(RC造の1/5)が図られ、CLTのメリットをアピールできる建築物となった。

また、防火性能・劣化対策・維持管理対策・温熱環境に関する住宅性能評価を取得し、住宅としての高い性能を確保するとともに、室内をCLTをあらわしとすることにより、入居者にとって木の温かみや安らぎを与える住環境となっている。

木材利用推進中央協議会会長賞(4点)

八戸市立西白山台小学校(青森県八戸市)



施主	八戸市
設計者	(株)日本設計、シーラカンスK&H(株)、 (株)佐藤淳構造設計事務所
施工者	寺下・高橋・東邦特定建設工事共同企業体ほか
主要構造	木造+鉄骨造+鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延べ面積	6,846㎡
主な使用樹種	アカマツ、スギ、カラマツ、シナ、スノーバーチ、 カバ、スプルース



<施設概要>

地元産のアカマツ、スギなどの製材を活用した大規模な学校建築。

木造の普通教室棟と管理棟の間に耐火構造であるRC造(屋根架構は木造)の特別教室棟やS造の渡り廊下等を設けるなどして分節することにより、木造部分を耐火構造とする必要がなくなり、木材をあらわしで活用。

教室は、7.2m×9mの広いスパンを製材及び集成材の一般流通規格材で実現するため、八戸の有形文化財である「ハネゴ」をモチーフとした木組みの架構等を採用。

木材は、地元の3つの森林組合が連携して供給し、構造材の96%に地元産材を使用。

木材利用推進中央協議会会長賞(4点)

熊本県立熊本かがやきの森支援学校(熊本県熊本市)



施主	熊本県
設計者	日建・太宏共同企業体((株)日建設計・(株)太宏設計事務所
施工者	建吉・豊JV、武末建設(株)、小竹・富坂JV、坂口建設(株)、(株)増永組、(株)タカムキ建設 ほか
主要構造	木造+鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延べ面積	6,185㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ



<施設概要>

重度重複障害をもつ子どもたちのためにできた全国初の専門校。車いすで天井を見上げる姿勢の多い子どもたちを愉ませるために、多彩な屋根架構を有する木造の建築物を計画。

県内に集成材工場がない中、木材の調達コストを抑えるため、一般流通材の材種、断面、長さで対応可能な設計とするとともに、木造部分を耐火構造(S造、RC造)で区画することで木造部分を耐火建築物とすることを回避し、県内で調達可能な木材のみで建設することに成功。

木材利用推進中央協議会会長賞(4点)

認定こども園さざなみの森 吹の棟(広島県東広島市)



施主	学校法人難波学園
設計者	無有建築工房
施工者	大和建設(株)
主要構造	木造+鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延べ面積	117㎡
主な使用樹種	ヒノキ、スギ



<施設概要>

葉っぱの形状をした屋根が特徴的なこども園。

スギノトラアカネカミキリによる食害を受けた材を、実験によって安全性を確認した上で「あかね材」としてブランド化して活用。放射状に広がる梁の上に野地材として120mm角のヒノキあかね材600本を隙間なく敷き詰めた屋根構造を採用。

また、製材所に山積みになっていた割れ・反りがあるサイズも不揃いなデッドストック材を製材前の不揃い具合を敢えて活かし、ログ壁に横使いで使用。

不揃いの木材の持つ力強さと優しさが空間に心地よさを与え、子どもたちの五感を刺激する空間を創出。

審査委員会特別賞(2点)

都城市立図書館(宮崎県都城市)



施主	都城市
設計者	益田・大脇・建人・アトリエ匠 委託業務共同事業体
施工者	丸宮・藤誠・清永特定建設工事共同事業体
主要構造	鉄骨造(内装木質化)
階数	地上3階
延べ面積	9,023㎡
主な使用樹種	スギ、クスノキ



<施設概要>

街の中心に残る旧ショッピングモールを、内装に木材を活用して市立図書館として転用・再生。

施設のエントランスや周辺施設間の導線となる軒下通路の天井部を木材を使用してリフォームするとともに、県産スギ材のCLTを材料とした造作家具(展示台)や管内造作家具のデザインチームと都城家具工業会が協力し、九州産クスノキを使用して開発した様々なレイアウトが可能な「木箱型書架」等を設置。

木材を活用した施設の転用・再生のモデルとして期待。

審査委員会特別賞(2点)

松尾建設株式会社本店ビル(佐賀県佐賀市)



施主	松尾建設(株)
設計者	松尾建設(株)一級建築士事務所
施工者	松尾建設(株)佐賀支店
主要構造	木造+鉄骨造
階数	地上6階
延べ面積	4,665㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ、ベイマツ



<施設概要>

6階建て鉄骨造の2~5階の床にCLT2時間耐火構造を用いた事務所ビル。

ビルの建設に当たってCLTと鉄骨梁をエポキシ樹脂等で接合する工法を開発し、今後、同様の混構造の建築物への普及効果が期待できる。

また、渡り廊下で接続する隣の会議室棟は、屋根組に集成材とLVLの合成梁を採用し、11mの長スパン構造を実現しているほか、外壁を耐火構造とすることで内部の木構造をあらわしとすることができる方法を採用しており、他施設への普及が期待できる。